# JAC北九だよりNO.41

(平成20年第3号)

社団法人 日本山岳会 北九州支部 Kitakyushu Section of The Japanese Alpine Club 発 行: 社団法人日本山岳会北九州支部 事務局: 北九州市門司区新原町12-27

関 口 興 洋 方

TEL·FAX 自宅 093-382-6436 携帯 090-8919-6776

発行人:大庭常生

編集人:関口興洋・伊藤久次郎



## 役員、現体制の留任で 08年度の通常総会、盛況に幕

事務局 関口 興洋

平成20年4月19日(土)午後2時から、ホテルニュータガワで開かれた第9回通常総会の概要を報告します。

1、大楠副支部長の開会の辞に続き、西村委員より会員 の状況報告。

3月31日現在の在籍会員数は、本部会員80人、支部会員76人、合計156人。総会の出席者は本人42人、委任状提出者55人、合計97人。したがって、本日の総会は在籍会員数の1/3以上が出席、有効に成立していると報告。

### 全国支部懇談会は、全員参加で

引き続き、大庭支部長は「今年は10月に全国支部懇談会を北九州支部主管で開催することになっている。支部の総力をあげて全国の会員をお迎えしたいので、全員参加の協力をお願いしたい。また、平成22年には創立10周年を迎えるので記念行事を推進したい。会員の希望を募りたく、本日アンケート用紙を配布したのでご協力を」とあいさつ。

その後、大庭支部長を議長に選び、議事の審議に。

### 議事の審議

2. 第1号議案:平成19年度事業報告(原委員)。

第2号議案:平成19年度収支決算報告(会計担当の 馬場委員)。

第3号議案:平成19年度監査報告(大城戸監事と高 畠監事)。

以上一括審議にかけたが、次の質問・問題点が提起 された。

(1) 園川陽造会員(5306)より、9月5日の委員会で 検討された「支部登山者必須条項」とはどのような 内容か。

これに対し、大楠副支部長と日向委員が説明。(具体的内容は平成 19年9月発行のJAC北九だより 37号に掲載済み)

(2) 人見五郎会員(11842)より、事業報告は、本来「事業計画」に沿って作成されるべきだが、内容的にそのあたりの結果が不明であり、今後の課題として検討願いたい。

これに対し、大楠副支部長より、作成方法につき

今後の課題として検討したいと回答。

一括審議の結果、承認可決された。

### 委員の役割分担を明確に

第4号議案: 役員改選 (案) として、新役員名簿 (案) が提示された。

今年は、全国支部懇談会の大きな行事をひかえているので、現体制で取り組みたい。ただし、細川委員は都合により退任し、板倉会員が新に委員として参加。

園川会員より、「委員の担当を明確にして、次回の支 部報に載せてほしい」との要請があった。

これに対し、執行部より「新役員会議でそれぞれの 担当を決め、お知らせする」と回答。(3ページの「新 役員の役割と業務分担」参照)

本議案も承認可決された。

第5号議案:平成20年度 事業計画(案)

山田委員より、別紙の山行計画(案)とあわせて、 説明。

第6号議案:平成20年度収支予算(案) 馬場委員より説明。

以上の議案につき一括審議を提案し、次の問題提起 がなされた。

「150人の会員がいるのに山行参加者が少ないのは、 案内の仕方に問題があるのではないか。全員にわかり やすく知らせることが必要。直前に参加したいと思っ ても、誰にコンタクトしたらよいのかわからない場合 もある。担当者を明らかに」(園川会員)

### <執行部の回答>

山行計画については3カ月前に支部報で内容及び担 当者を知らせている。

また、参加申込者には早めに計画書を配布している。 なお、個人山行・グループ山行の報告も出してほしい。 一括審議の結果、5号、6号とも承認可決された。 最後に伊藤副支部長の閉会のあいさつで、第9回通 常総会が無事終了した。

カンリガルポ山群の話に興味津々

#### 3. 記念講演

大楠副支部長が、講師の松本徰夫先生を紹介。

### 講師 松本 徰 夫

山口大学名誉教授、日本山岳 会元福岡支部長、日本山岳会 永年会員。平成19年度刊行 の「ヒマラヤの東 カンリガルポ 山群 踏査と探検史」に対し、 「秩父宮記念山岳賞」を受賞。



... 講演中の松本先生

今回の受賞に至るまでには、諸先輩から教えられた 数々の教訓を、自分なりに受け継いできたことが実を 結んだと思っている。

九州山岳界の第一人者であった加藤数功氏の指導で山の猟師に習うことを知った。

マナスル登頂に成功した直後の1958年、加藤氏の案内で九重山へ登られた槙 有恒さんより「山を尊び、山を愛し、山と共に生く」という色紙をいただき、教訓にしてきた。

今西錦司先生からはパイオニア・ワークが何であるかを学んだ。その後の登山や探検に大きく影響することになった。

また、吉沢一郎さんからは、真の登山家は「よく読み、よく登り、よく書くことである」と教えられた。 私はそれらを目標に励んできた。

カンリガルポ山群の踏査と研究は、2001年から始まった福岡支部の山行がスタートであった。 2005年まで5回通うことになった。これらの踏査の成果をまとめたものである。

最初に、総延長 280 kmに及ぶ山群の位置関係(チベットの東端)の説明があり、講演は 100 枚のカラースライドを上映しながら行われた。カンリガルポ山群の貴重な自然の姿や珍しい植物について説明を受けたが、氷河に覆われた6,000mクラスの峻険な未踏峰のつながりは、息をのむほど美しく、興味のつきない講演であった。

### 坊ガツル讃歌誕生のいきさつ

#### 4. 懇親会

司会は日向委員。大庭支部長の挨拶のあと、秦野評議員の乾杯の音頭で開宴。九重、阿蘇、霧島、祖母、開聞、宮之浦の各テーブルは43人の出席者で大いに盛り上がった。

懇親会の会場に伊藤副支部長の「坊ガツル讃歌」を 読み込んだ9枚の版画シリーズが展示された。これを 背景に、松本先生からこの歌が誕生したいきさつをお 聞きした。

昭和27年の夏、 3人で坊ガツルのア セビ小屋で小屋番を していた時、雨が続 き退屈しのぎに 「阿蘇の歌があるの に九重の歌がない。 それでは自分達でつ くろうということに



坊ガツル讃歌誕生のいきさつ を話す松本先生

なり、廣島高等師範学校の山岳部の歌を下敷きに替え歌を9番まで作詞した。そのときの仲間は、現在東九州支部長の梅木さんと草野さんの3人であった。

その後、「NHKみんなの歌」で芹洋子が歌い、一躍 有名になったが、3番で元歌の「山はピンクに」が「山 くれないに」に変更された経緯なども。

松本先生を女性の出席者が囲み、3フレーズを一 緒に歌われ、懇親会のハイライトとして花を添えた。

### 総会及び懇親会の参加者(敬称略)

秦野一彦 園川 陽 造 大庭常生 日向祥剛 井 上 佑 人見五郎 溝 部 忠 増 大城戸 昌敏 広 美 大 楠 益 弘 原 板倉健一 伊藤 久次郎 西村信子 浦田和夫 馬場基介 舛 木 関 口 興 洋 高晶拓生 橋本 建一郎 藤田 傳 西村俊二 横山洋子 吉岡 千津子 藤川 美久子 室津健次 宮城尚志 山田武史 高城季美子 大石 そなえ 中岡邦男 丹下 洽 小 林 冨 男 武永計介 大木康子 吉岡 亜津子 坂本勝喜 坂本 千佐子 丹下香代子 俊 一 高田孝一 平野一幸 萩尾常利 末 永

来賓講師 松本徰夫 合計44人

### 新役員の役割と業務分担

平成20年4月19日の第9回通常総会で選任された新しい役員の役割と 業務分担は次の通り。

(任期:平成20年4月19日から平成22年の通常総会まで)

氏 名 会員番号	役割・業務分担			
大庭 常生 (11395) (再)	支 部 長 (総括責任者)			
大 楠 益 弘 (13465)(再)	副支部長(支部長補佐、総務全般、			
	遭難対策委員長)			
伊藤 久次郎 (13499) (再)	副支部長(支部長補佐、広報全般、			
	支部報編集長)			
関 口 興 洋 (13643)(再)	事務局長(事務局担当、自然保護			
	委員)			
日 向 祥 剛 (11427)(再)	委 員(自然保護委員長)			
原 広美 (11990) (再)	委 員(山行計画担当)			
板 倉 健 一 (13471)(新)	委 員(山行計画担当)			
西村信子(13520)(再)	委 員(山行計画担当、総務担当)			
馬 場 基 介 (13532)(再)	委員(会計担当)			
山田武史 (13992) (再)	委 員(山行委員長)			
大城戸 昌敏 (11979)(再)	監 事(会計・業務監査、山行			
	計画担当)			
高 畠 拓 生 (13541)(再)	監 事(会計・業務監査、自然			
	保護委員			
計12人				

### 平成20年度 全国支部懇は 北九州で開く

ح 平成20年10月11日(土)~12日(日)

「ホテル ニュータガワ」 TEL: 093-521-7000 ところ 北九州市小倉北区古船場3-46

(JR小倉駅から徒歩約7分、モノレール約3分、旦過駅下車1分)



- (1) 全国支部懇談会全体会議(受付開始14:00、会議の開始15:00)
- (2) 記念講演:来年の松本 清張生誕100周年を機に、清張と山をめぐるテーマで 講師:梅光学院大学 小林 慎也教授 (15:30~17:00)
- (3) 懇親パーテイ(18:00~20:00)

### 第2日目(10月12日、日) 記念山行

(Aコース) 福智山 (901m) ~ 所要時間:約7時間、小倉駅で解散 (15:30頃)

(Bコース) 平尾台~貫山(700m)~所要時間:約7時間、小倉駅で解散(15:30頃)

(Cコース) 関門の歴史探訪コース~所要時間:約7時間(貸切バス利用) 下関市長府の城下町、功山寺(国宝)、赤間神宮(祭神:安徳天皇)、火の山、 壇ノ浦~和布刈 (関門トンネル人道経由)、門司の風師山 (槙 有恒 元会長の 歌碑見学)、小倉駅で解散(16:00頃)

参加費用(概算) 約20,000円(懇親パーテイ、宿泊、記念行事参加の場合)

問い合わせ先 日本山岳会北九州支部 事務局 関口 興洋 TEL/FAX 093-382-6436



## 平成20年4月~21年3月

## 年間行事の予定

北九州支部

行事月	定例委員会 (原則として2カ 月に1回)	総務関係	定例山行 (計画担当者)	広 報	サロン (毎月第4 水曜日)	その他
平成20年 4月	2日(水) 臨時委員会開催	19日(土) 第9回通常総会 ホテルニュータガワ 4/19~20自然保護全国 集会(日向)	20 日 (日) 陶ガ岳クライミング研修 (細川)		23日 (水)	
5月	7日(水) 18:00 小倉商工会館	17日支部長会議と 本部通常総会 24日英彦山山開き 前夜祭(キャンプ)	1.25日英彦山山開き登山 と安全祈願(山頂)(高畠) 2.5月30日~5月31日 乗鞍岳登山(関口)	北九だより 41 号発行	28日(水)	
6月		1日 ウェストン碑前祭 (上 高地)	米製出並出 (民日) 21日 (士) ~22日 (日) 祖母山キャンプ(原)		25日(水)	
7月	2日(水) 18:00 小倉商工会館		27日(日)古処山~屏山縦走 (西村信)	北 九だより 42号発行	23日 (水)	
8月					27日(水)	
9月	3日(水) 18:00 小倉商工会館	支部長会議 (上高地)	7日(日) 由布岳お鉢巡り (山田)	北 九だより 43号発行 中央分水嶺踏査 記録集発行予定	24日 (水)	
10月	1日(水) 18:00 臨時委員会開催 小倉商工会館		12日(日)全国支部懇記念山行 (A) 福智山 (B) 平尾台〜貫山 (C) 火の山〜風師山		22日 (水)	
11月	5日(水) 18:00 小倉商工会館	2日~3日 第24回宮崎ウェスト ン祭	2日(日)~3日(月・祭) 筒ガ岳(宮崎ウェストン祭) (高畠) 30日(日) 津波戸山(国東半島) (丹下)	北九だより 44 号発行	26日(水)	
12月		6日(土) 支部長会議と 全国年次晩餐会	第2土曜日(13日) 忘年会		お休み	
平成21年	4日(水) 18:00 小倉商工会館		18日(日) 若杉山〜宝満山縦走 (山田)	北九だより 45 号発行	28日(水)	
2月		通常総会準備	7日(土) ~8日(日) 安蔵寺山雪山訓練 (テント泊 (内藤)		25日(水)	
3月	4日(水) 18:00 小倉商工会館	ᄣᄧᄱᄵᅭᅭᆉᄱ	22日(日)福智山清掃登山 (関口)	北九だより 46 号発行	25日 (水)	

### 3月 月例山行報告

### 九州と信州の会企画

## 20年ぶりに楽しんだスキー

No.13992 山 田 武 史



ペンション星の家をバックに全員で記念撮影

平成20年3月13日から4日間、「九 州と信州の会」の企画で、白馬栂 池の スキーツアーがあり、JAC北九州支部 も公式行事として参画することになった ので、私も急遽、参加を申し込んだ。

私は、札幌及び富山勤務時代はスキー を楽しんでいたが、福岡に転勤となり、 もうスキーをすることはないだろうと思 い、スキー用具一式を処分していたが、 ツアー企画に刺激され、はたして滑る事 ができるかどうか、不安ながらも、勇気 を奮って参加した。

### 3月13日(木)

この日は移動日で、新幹線、特急を乗 り継ぎ14:55に、松本駅に到着。

私たち一行総勢27人(内、JAC北 九州支部会員は9人)は、ペンションオ ーナー「清さん」の出迎えを受け、マ イクロバスと乗用車2台に分乗して、一 路小谷村へ。

松本駅周辺は全く雪はなかったが、 小谷村に近づくにつれ、積雪は増し、 ひと安心。

17:00 白馬乗鞍高原の「ペンション 星の家」に到着。3日間の宿泊はこの「ペ ンション星の家」で、私たち一行の貸し 切り。母屋はなかなか風情あり、いろり、 また、薪ストーブの暖炉を囲んでの団ら んは最高だったが、圧巻は、43 cm口 径の天体望遠鏡が別棟に設置されてお



り、土星の輪も観測できるそうだが、当 夜は雲厚く観測できず、誠に残念だった。

### 3月14日(金)

スキー組と、スノーハイク組にわかれ たが、私は、スノーハイク組に入つた。

スノーハイク組は、「清さん」のガイド により、雨飾山のふもとを、鎌池ま で登る予定という。

スタート地点で、スノーシューの履き 方を教わり、みんな、どうにか装着もで きていよいよ、出発。道なき雪原を、先 頭の「清さん」の後にしたがい、必死に 登る。しかし、休憩の時には、「清さん」 より、樹木のこととか、野生動物等に ついて、ジョークを交えてのガイドに、 心はなごんだ。

目的地の鎌池の氷上では、特設の雪上 テーブルを作り、昼食としたが、ここで、 「清さん」より、自前のホットワインが 振る舞われ、みんな、大感激だった。



昼食後は、気持ちよく、一気に下るの みのコースなるも、不得手の方もおられ てみんな、やや時間を要したが、しかし、 楽しいスノーハイクであった。

### 3月15日(土)

この日は、スキー組に入った。

20年ぶりのスキーでもあるので、緊 張と興奮の精神状態で、栂池スキー場に マイクロバスから降り立った。

リフト券の購入やら、ホルダなどにつ



いて、大庭さんと高城さんにお世話に なってやっと、ゲレンデに第1歩を踏み 入れた。

最初は、大庭さんのリードで緩斜面の ゲレンデで滑って体慣らしの後、高城さ んの女性だけの6人グループに入れても らい2本滑り、昼食後は、関口さんのグ ループに入って、栂池のゲレンデでのス キーを20年ぶりに楽しんだ。

特にこの日は天気も良く、ゴンドラ の最高点からの景観は最高。 白馬 3 山 は眼前にあり、また、双耳峰の鹿島槍 ガ岳の勇姿が、青空にクッキリと浮い ていた。

暖気によって、ゲレンデの雪質は良く なかったが、それを帳消しにしてもなお あまりあるほどの北アルプス連山の景観 であった。

#### 3月16日(日)

いよいよ、今回のツアー最後の日。 07:50に「ペンション星の家」を出発、 「清さん」のマイクロバスにて、松本駅 まで送ってもらい、松本駅でお土産をた くさん買って、後は、特急と新幹線に身 をゆだね、車中では、3日間の思い出と 反省を酒の肴にして、3種混合。楽し いツアーであった。

### JAC参加者

11395 大庭 常生 13499 伊藤久次郎 13643 関口 興洋 13986 室津 健次 13992 山田 武史 14045 池田 暁彦 14046 高城季美子 北九275 足立 明夫 北九401 山田加寿彦

計 9人

### 3月 月例山行報告

## 

北九408 佐 伯 近 史



陶ガ岳ロッククライミング研修に参加したみなさん

いつも拝み登る(何 だか私を守ってくだ さっているような気 がする)。シダと樹木 中をジグザグ登って 行くと広場に出る。 陶ガ岳肩の草広場で ある。展望が一気に 開ける鋳銭司陶の田 園風景、長沢池、黒 河内山塊の山々が見

渡せ避難小屋も建つ。そこで少息を とり、ハーネスを取り付け岩登りに かかせないハーネスとザイルの結び

平成20年4月20日、若葉芽吹くミ ツバツツジ満開の時期、細川指導員に よる岩登りとロープワークが陶ガ岳で 行われた。

午前7時、玉姫殿駐車場前で北九州 の山岳会員の方々と合流し、総員11 人3台の車にわかれ、下関出発。

陶ガ岳近くの松永邸駐車場に車をお かしていただき「陶ガ岳登山道」に従 い、水路沿道北向き松永邸庭に入る。 庭先登山道標識と「松永園薬草園跡遺 存植物」の説明板が立つ。薬草園は幕 末期医師であり、この地で薬草栽培を 行った人物である。この松永邸のご好 意により庭中を通らせていただき、道 標に導かれ山道にたどり着く。ヒノ木 林を抜けると右側に広場がある。そこ に小祠がある。私は陶ガ岳に登るとき



方、エイトノットとダブルフィッシャ ーマンズの結び方など練習、30分か け岩場のゲレンデに場所を移す。

今回は国体コース1ピッチ目(1 つ上テラス)で実際に訓練。陶ガ岳 には国体コース、ルンゼコース、枯 木コース他50コースあるそうだ。

今回のクライミング形態はフリー

クライミングである。フリークライミ ングとは道具を使わないで登る。それ にしてもロープ、カラビナ、ボルト、 ハーネスなど随分道具を使っているよ うに見える。道具は前進的手段では使 わない。つまりフリークライミングに おいて使う用具はクライミングシュー ズを除きすべて安全確保のための道具 である。ロープなどの安全確保手段を 一切使わないフリークライミングをフ リーソロと呼ぶ。ボルダリングもフリ ークライミングである。逆に直接手助 けしてもらう岩登り、すなわち道具を 前進手段に使う岩登りをエイドクライ ミングという。つまりエイドクライミ ングというものがあるからフリークラ イミングという。今回教えていただい た細川指導員が支点(テラス)まで登 られたのがフリーソロなのである。

支点から細川さんに1人ずつビレイ していただいた。皆さん苦労して登ら れたようだ。クライミングは岩の形状 に対して様々なムーヴに対応しなけれ ば登ることはできない。クライミング では次のホールドを取りに行く動作を 「ムーヴ」という。このムーヴが適切 か否か、若しくはできるかできないか がクライミングを成功させるかどうか の最大の要素なのだ。「ムーヴ」は手 足の運び方、重心移動のやり方である。

昼食は陶ガ岳の肩の草広場でとっ た。午後は陶ガ岳山頂からの懸垂下降 練習を実施した。エイト環やATC使 用の仕方、懸垂下降訓練をし、初心者



もいてなかなか苦労されてる人もい

その後、シュリンゲで支点の取り方 やカウヒッチや「わりを入れる」支点 の取り方など教わった。

午後3時すぎに終了し、みんなと陶 ガ岳で解散、細川指導員をはじめ、山 岳会の皆様には大変お世話になりまし た。楽しい登山日をすごすことができ ありがとうございました。

参 加者

細川 功 板倉健一 西村俊二 大 田 満 佐伯近史 西村信子 原 広美 森本信子 八木國子 大内喜代子 倉本とき子

計 11名

### 山行記

## 環暦おっさん2人組 祖母·大崩縦走

No.13527 野嶋 豊

3月19日、雨、山中3泊・予備日1、 メンバー:野嶋 豊・花田六郎

八幡を22時出発、03時道の駅、原 尻ノ滝、仮眠。

3月20日、曇り・雨・後晴れ・夜 猛烈な風。6:30 上畑健男社下登山口。 ここまで送ってくれた、妻に礼を言っ て別れる。

7:20 登山開始。登山口 (h400) で 警察車両が10数台通りすぎるのを見 ながら歩き始め、最後の民家の庭先に 出ている清水を満タンにする。祖母・ 傾間の水は豊富だが、後半の傾・大崩 間で水を確保できないと敗退しかな い。入山者のいない登路は、昨日から の雨ですべり、また倒木・落枝が多く、 踏み越たり回避行動で体力を消耗し、 予定どおりに進まない。h800位で雨 が降り出し、雨具を着用する。

11:45 障子岩(h1409 前障子)。 霧雨で大障子岩を確認できないので、 呼吸を整えすぐに歩き出すが、今日の 幕営予定地天狗岩付近ははるかかなた。

12:55 大障子岩(h1541) 雨具を 外し、遥か前方に白い祖母山が見え、 昨日からの雨は山頂付近では雪か。へ リコプターの爆音が聞こえ始め、しば らく歩くと捜索をしている県警救助隊 と会い、捜索3日目で要救者は、77 歳男性と聞く。別れのあいさつをし、

先を急ぐが倒木・落枝で体力も底をつ きバテバテで尾平鉱山からの三差路宮 原に着く。15:35 (h1402)。

ここからの道は歩きやすく、真っ白 になった祖母山を見上げながら幕営予 定地に急ぐが、水は底を尽き、日没が 近い。小屋下の幕営地までが体力の限 界で、本日はここまで17:10(h1680)。 明日は九折小屋より先には行けないだ ろう。予備日も繰り入れ、山中4泊と 腹をくくる。

3月21日、晴れ。\*焼酎2.5L残。 7:40 幕営地発。昨日は雪と見えてい たのは大きく成長した樹氷で昨夜の風 で残雪の上に落ちて、クラッシュアイ スで不安定な足場を踏み締めて歩く。

8:00祖母山頂(h1755)。東縦走 路入り口の下部は完全にアイスバーン になっているので慎重に下降し、難所 を抜ける。古祖母(h1500)までは、 雪かクラッシュアイスで道は覆われて いる。13:20尾平越。

もうここまで来ると、春山でブナ広 場の水場で補給をして歩くが、自然現 象かあれほど苦労した縦走路の、スズ 竹がほとんど枯れ、また、木は立ち枯 れで尾根が異常に広い。おかげで歩き やすいけど複雑な気持ち。今日も日没と の競争で18:30 九折小屋。食事の支度 や水汲みに追われ、寝酒を飲んで就寝。

3月22日、晴れ。\*焼酎1.9 L残。 6:45 小屋発。今日は水の補給を考え ながら霜柱を踏みつつ歩き、8:00杉 ケ越分岐、傾山頂をピストンし、杉ケ 越まで急下降のアップダウンを嫌にな るほど繰り返し、やっと12:45 杉ケ 越。ここで車道まで降りて水を探しに 行くか、縦走路の中で見つけるか悩む が、登り返しを考えるとおっくうにな り、何とかなるで、先を急ぐ。下降で くたびれた脚にまた新百姓までアップ ダウンが続く。途中で登山者とすれ違 い、水と栄養ドリンクを分けていただ き、お名前を聞くのを忘れたのが心残 りだ。

15:00 新百姓、桧山から小鋸・大 鋸にかかるあん部で水を発見し(h50 ・1200)、下降して岩に染み出す水を、 ほおの葉で樋を作り、4 Lの水を確保 できて残りと合わせ5Lあるので、安 心して今日は、早いが行動終了17:20。

3月23日、終日雨。\*焼ちゅう0.9 L残。7:20 幕営地。水の残量2.5L。 雨の中を小鋸・大鋸の岩峰群に取り付 き慎重に登下行するが、大鋸の崩壊地 点でのトラバースは大変で、ハーケン はグラグラし抜けそうで、フッイック スロープに体重はかけられないし、カ ッパのフードが邪魔をして視界が狭く なり、周りの確認ができず気が抜けな い。何とか抜け出し、後は滑る道を登 ったり下ったりひたすら歩いて夏木・ 五葉を越え、h1549で岩場の乗越し をせず、東にミストレースして乙女山

へ。h1517のピークで気付き引き返す が、40分のロスになった。私のカッ パは14年選手で雨には役に立たな い。服も靴も水浸し。お姫・鹿納の野 から鹿納山と歩くが、鹿納山頂の岩峰 を通過しないので、またミストレース とばかり地形図で確認するが、方向に 間違いはない。

ほどなく鹿納山・大崩・宇土内の三 叉路に着く。鹿納山は通過してしまっ たが、道は間違っていないので安心し た。最近は岩場のエスケープルートが 多く作られているのを思い出した。こ の大崩に向かう分岐は地形図に載って いる沢越えのルートでなく尾根通しの ショートカットであることがテントで 確認わかる。現在位置を取りこぼして 日没。急ぎスズタケの中の空き地でテ ントを張り行動を終わる。

水が1L少々しかないので、食事を 作るのに水が使えない。餅を焼いて晩 飯。ぬれた衣類を乾かすためガスを使 い過ぎて燃料切れだが、乾かないので 下山した時のよそゆきの服に替える。

小雨になったが、風も強く気温が急激 に下がり始める。

3月24日、霧雨から曇り。\*焼ち **ゅう0.2L残。** 

0.5Lの水をわずかに残ったガスで 湯を沸かしテルモスに入れ、熱いので ガブ飲みできないようにする。

7:00 出発。 10 分位で宇土内ルー トと合流し、20分位で大崩山頂直下 の三叉路(h1628)に到着。昨日は h1500まで登っていたみたい。風も 強くそれに樹氷が成長しているので、 さっさとやっつけて長居は無用とすぐ に下山にかかる。あとは歩き慣れた涌 塚ルートを一目散中で下り、中涌塚下 の湧き水で乾いたノドを潤す。

12:50美人の湯バス停。私の宿題 であった縦走(約52 km)を終わる。 風呂そして相棒と生ビールで乾杯し、 仕事を終えて帰宅した大崩の茶屋の石 本夫妻と歓談し、別れの時にはシイタ ケのお土産も頂いて17:05のバスで 延岡に出て、最終の電車で帰宅する。

今回の反省点

- 1. 倒木など整理され、登山道がしっ かりした晩秋か初冬に計画するのが 楽で良い。
- 2. 雨具の装着時は帽子を被り、視界 を確保する。雨具の袋に帽子も入れ ておく。
- 3. 木綿の下着を着けていたため、体 温で乾かすことができなかった。
- 4. また腕時計をなくした。バンドは 緩くしているが、力が入るとピンが はずれる。
- 5. 登路の下調べが不完全だった。
- 6. 予備日も使ってしまうのは、体力 不足である。ボッカ訓練をまじめに しないと。
- 7. カメラが不調で写真記録がない。 行く前に確認しなければ。
- 8. 酒がなければ、荷物も軽く水の消 費も抑えられるが、私は絶対はずせ ない。

## ◇ ◇ ◇ 報告・連絡など◇ ◇ ◇

### 「山のトイレ、環境を考える福岡協議会」 設立総会および記念講演のご案内

と き: 平成20年6月22日(日) 13:00~16:00 ところ:太宰府市 太宰府館(3F)まほろばホール 西鉄太宰府駅より徒歩2分(駐車場なし) 〔開催内容〕

- 1. 総会議事
- 2. 記念講演 永田京子 氏 岩手県自然保護団体協議会代表 演題「早池峰山のゴミ、トイレ問題16年間の取 り組みとこれからの活動」
- 3. 質疑応答など
- ※ JAC 福岡地区の会員は、なるべく参加をお願い します。(支部長)

### 第42回 サハリン平和の船 参加募集 サハリン最高峰ロパーチナ登山ほか

稚内からアインス宗谷で行く。各コース現地日本語 ガイド同行。全行程バス。食事付き。

### ●主な日程

7月24日(木)~7月29日(火) 5泊6日 サハリン最高峰ロパーチナ登山 7月24日(木)~8月1日(金) 8泊9日 サハリン縦断最北の旅

7月28日(月)~8月1日(金) 4泊5日 文豪チェーホフの足跡を辿る旅 サハリン高山植物花見ツアー ホルムスク地区ループ線・泥火山散策ツアー 南サハリン考古学紀行

問い合わせ先

NPO法人北海道日本ロシア協会 (TEL 011-261-8887)

### 会員異動

### 新会員

本部会員

No.14498 大 木 康 子 小倉北区 No.14523 榊 俊 糟屋郡

支部会員

北九416 牛 小倉南区 信 北九417 末 永 勉 門司区

北九418 松 川 信 子 門司区 北九419 隈 部 寿 子 門司区 北九420 長谷川 雄 助 北海道札幌市 (本部会員No. 6103 北九州支部会友) 北九421 助 田 梨枝子 北海道河西郡

(本部会員No.12996 北九州支部会友)

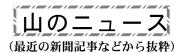
北九422 福 田 陽 子 下関市 退会

本部会員

No.5247 三 上 忠 戸畑区

支部会員

北九262 田 中 笑 香 福岡市





### 75歳の三浦雄一郎さん 最高齢でチョモランマ挑戦

プロスキーヤー三浦雄一郎さん (75) が世界最高峰のチ ョモランマ (英語名・エベレスト、8,848m)の登頂に、世 界最高齢の75歳で挑戦するのを前に3月13日、東京都内 で記者会見を開いた。三浦さんは「前回、登頂した時は 雲で景色が見えなかった。山の女神が今度は晴れるから また来いよとわたしを呼んでいる」と語った。

先発メンバーは15日に、日本を出発。ネパール側で高 度順化のトレーニングを積み、4月11日に中国側にベー スキャンプ入りし5月中旬に頂上へアタックする予定。

(3月14日 西日本新聞)

### 上ホロカメットク山周辺、雪崩報告が急増

昨年11月に雪崩で4人が死亡した十勝連峰・上ホロカ メットク山 (1920m) の周辺山域で、03年以降の雪崩の報告 数がそれ以前の10倍に当たる年平均8.2回に急増してい ることが山スキー愛好会「三段山クラブ」の大西人史代 表の調べで分かった。入山者の目的が、かっての登山か ら新雪を求めるスキーやスノーボードの滑降に変わり、 雪崩が発生しやすい谷に入ることが原因とみられる。

(3月16日 毎日新聞)

### 遠賀川源流の森づくりシンポ 浄化へ「できることから」 嘉麻市で開く

福岡県嘉麻市の市民団体などが主催する「遠賀川源流 の森づくりシンポジウム in 嘉麻」(西日本新聞社など後 援) が3月16日、同市嘉穂総合体育館で開かれた。遠賀 川流域住民ら約800人が来場し、清らかな水をはぐくむ 森の大切さについて考えた。

嘉麻市は、響灘に注ぐ遠賀川(全長約61 \*」)の源流域 に位置する。1997年に地元住民が「遠賀川源流の森づく り推進会議」を旗揚げ。森林の保水力を高めて川の水質 浄化に貢献しようと、荒れた山に広葉樹を植える地道な 活動を続けている。 (3月17日 西日本新聞)

### ソニー、木質バイオマス利用促進のため、 秋田県へ寄付

ソニーは、グリーン電力証書を通じた森林保全支援活

動推進の一環として、間伐実施後の間伐材などを、木質バ イオマス発電施設まで運搬し、発電所の燃料を安定的に確 保するスキームを秋田県に提案した。このスキームの核と なる運搬事業運営費用のため、グリーン電力証書を利用す るソニーグループ各社からの支援費を原資として、ソニー が同県へ毎年600万円の寄付を行うことで、県と合意した。

(4月2日 ソニー報道資料)

### 6歳 ヒマラヤ5545m 到達 夢はエベレスト登山

福岡県春日市の春日南小1年、斧田拓海君(6歳)は、3月 20日から15日間の行程で、75歳の祖父藤一さんと2人 でネパールに遠征、世界最高峰エベレストを望むヒマラヤ トレッキングで最高所のカラパタール (5,545m) に到達し た。 4歳のころから南アルプスの北岳(3,192m) や富士山に 挑み、大人と同じ行程でヒマラヤを歩き通して、現地ガイ ドから「最年少記録」と称賛された。「大人になったらエ ベレストに登りたい」と夢を膨らませている。

(4月17日 西日本新聞)

### 宝満山に無断で登山道 斜面崩落し随所に危険個所

年間30万人の登山者がある、太宰府市、筑紫野市境に ある九州百名山・宝満山 (829m) の正面登山道に平行する ように、新たな登山道が無断で取り付けられていることが、 山林を所有する竈門神社の調べで分かった。

新たな登山道は、倒木や樹木をチェーンソーで伐採し、 要所要所の樹木に赤いペンキで線を付けたり、ペットボト ルを枝にかぶせたりして目印にしている。

竈門(かまど)神社側は、斜面の荒廃を招くため、一の鳥 居と水場がある3合目の上部に立て看板を設置、違法行為 の禁止を呼びかけている。(4月30日 西日本新聞)

### 南極立ち入りについて、 環境省から法令遵守の通達

南極地域を観光・訪問する際には事前の手続きが必要 で、南極地域の環境保護のために配慮しなければならない 基本的事項を守るよう環境省がホームページで呼びかけて

なお、基本的な配慮事項(南極で禁止されている行 為の例)とは

- 科学的調査の場合を除き、鉱物の探鉱及び採鉱の禁止
- ペンギンをはじめとする鳥やアザラシを

捕まえる 群れを乱す 餌を与える 触る 接触して驚かす

(観察や撮影の祭には、ペンギンや鳥は5m、アザラ シは15m程度の距離をとろう)

- 鳥の卵を持ち帰る コケを踏みつける
- ペットの持込

(動物への病気感染を防ぐため現在では犬ゾリ用の犬 の持込も禁止されている。)

○ 紙屑やごみ、たばこの吸い殻、飲食物などを捨てる。 (ゴミを屋外で焼却することも禁止。用を足す時は 船に戻ること)

- 南極特別保護区への立ち入り
- 建物や記念碑などへの落書き

(4月 環境省ホームページ)

### 聖火登頂控え30隊が足止め チョモランマ

北京五輪聖火の世界最高峰チョモランマ登頂を前に、中 国側からの登頂を禁止された一般登山隊は5月3日までに、 約30隊に上り、ネパール側のベースキャンプ (BC) 付近で 足止めされている。

ネパール政府も妨害行為を警戒し、聖火登山が終わると みられる10日まで登頂を禁止。世界最高齢での登頂を目 指す三浦雄一郎さんも登頂ルートを中国側からネパール側 に変更した。三浦さんの事務所によると、BCには各国約30 隊のテント約500張がひしめき合っているという。

(5月4日 西日本新聞)

### 聖火、チョモランマ山頂に

中国が国家の威信にかけて実施した北京五輪聖火の世 界最高峰チョモランマ登頂が5月8日成功した。

(5月8日 西日本新聞)

会員だより

◆上海からの便り 山 義雄(北九404)

ごぶさたいたしております。現在上海に住んで おり、2カ月に1回程度、母の様子見などで一時 帰国をしております。あと2年位上海にいて、そ の後帰国する予定です。昨年10月ヒマラヤ(中国 側) 観光に行き、ベースキャンプ地点(5,200m)でエ ベレスト、チョーオュー、ローツェ、マカルー、シシャ パンマを見ました。天気が良く幸運でした。

(4月21日)

## 山行計画のご案内

### 6月の山行

祖母山キャンプ(6/21~22) オオヤマレンゲ観賞

(9~10時間コース)

ع き: 平成20年6月21日(土)~22日(日)

集 合: 午前10:00 JR門司駅南口。山口県は9:30一宮駐車場。

福岡地区の方は竹田市、「道の駅、原尻の滝」で、午後1時ごろ合流。

交通手段 : マイカー

程: 6/21(土) 上畑やまびこ塾泊(シュラフ持参、自炊) 行

6/22(日) 尾平~宮原~山頂~黒金尾根~尾平

申し込み : 5月31日まで、原 広美 (TEL/FAX083-245-5490)



## 7月の山行

古処山(860m)・屏山(927m)縦走 キツネノカミソリ観賞

き: 平成20年7月27日(日) 集 合: 秋月キャンプ場 9時

交通手段: マイカー

秋月キャンプ場~5合目林道~水舟~ツゲ原生林~縦走路分岐~屏山~

古処山~八丁越~だんご庵~秋月キャンプ場 (歩行時間:約5時間)

申し込み: 7月20日まで

西村信子(TEL·FAX 0930-33-4618) へ。交通手段のない方は相談に応じますので、

参加希望の方はとりあえずお申し込みを。

## サロン ルーム

毎月第4水曜日

毎回盛況、ご参加歓迎!

6月のサロンは、25日(水) 7月のサロンは、23日(水)

と き 午後6時30分から

ところ 小倉北区魚町「コール天」

(魚町銀天街、酒房武蔵より西へ約30m)

会 費 3,000円前後(ワリカン制です)

○山行計画が少しでも目につくように 編集後記 **夕回から計画スタイルを少し変えてみ** ました。また、個人山行もできるだけお知らせ下さい。計 画や山行報告など、会員の活動として「会員だより」に載 せたいと思います。Q

○山の原稿は、事務局(関口事務局長)または 〒826-0032 田川市西平松11-8 伊藤久次郎宛。 TEL/Fax 0947-42-2772

Eメール原稿は、

アドレス rw4ux6@bma.biglobe.ne.jp です。 デジカメ写真は、縮小せず添付で。

○次の原稿は6月25日までにお送り下さい。